

銚田市消防団ビジョン（素案）に対する  
意見募集（パブリック・コメント）結果と意見に対する市の考え方について

令和8年3月11日

1 実施概要及び結果

（1）実施期間

令和8年1月19日（月）から令和8年2月17日（火）まで

（2）周知方法

- ・銚田市役所総務部危機管理課窓口
- ・旭市民センター管理グループ窓口
- ・大洋市民センター管理グループ窓口
- ・市ホームページ、市広報紙、地区回覧等

（3）意見提出方法

- ・持参又は郵送
- ・ファクシミリ
- ・電子メール

（4）意見数

16件（3名）

## 2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>消防団員の負担軽減を課題とするのであれば、操法大会への参加を取りやめるべきではないか。</p>	<p>操法大会への出場やその訓練に対するご意見は分団長アンケートや消防団座談会においても意見や要望がございました。</p> <p>団員の負担軽減や社会環境の変化への対応も重要な課題であると認識しており、操法大会への出場も含め、消防団の意見を踏まえながら、各種行事のあり方を協議してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
2	<p>新宮地区の部数は地域的に3部ではなく2部の方がとりまとめやすいのでは。</p>	<p>銚田市消防団再編計画の組織図において、第2段階へ移行すると新宮分団、大竹分団ともに3部体制となっておりますが、部数は現在の分団数を基に算出した参考値であるため、とりまとめやすい2部にすることも可能となります。第2段階の部数は各分団の状況に応じて協議のうえ決定されるものと考えております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
3	<p>分団長研修は時代に合わないため、廃止した方がよいのでは。</p>	<p>分団長研修については、消防団内で協議のうえ実施している事業となります。しかしながら、社会情勢や消防団を取り巻く環境の変化を踏まえ、必要性や実施方法の見直しは重要だと考えております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
4	<p>消防団の手当てについては支給ではなく、その報酬分を住民税から差し引いた方が、消防団員の家族にも</p>	<p>消防団員報酬は、国税・地方税ともに課税所得に含まれるため、報酬分を住民税から差し引くことは法的</p>

	<p>消防団のイメージは良くなり、消防団加入のメリットになるのでは。</p>	<p>に認められておりません。</p> <p>消防団員に対する税の優遇措置や制度改善など、消防団加入のメリットとなり得る施策については、今後検討してまいります。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。</p>
5	<p>消防団員不足は深刻な状況なため、経験豊富な元消防団員を対象に「(仮称) シニア消防団員」を検討してはどうか。</p> <p>元消防団員はかなりの人数の方が対象となるので、初期消火や消火活動の準備をしてもらっただけで効果があるのではないか。</p>	<p>機能別団員・機能別分団という制度がございます。ご意見をいただいた元消防団員も、この制度の対象として考えております。団員確保が厳しくなっている状況において、元消防団員などの活用は、消防力を維持するための有効な手段の一つであることから、本ビジョンにおいても将来像を実現するための取り組みの一環として、機能別団員・機能別分団の推進を進めてまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
6	<p>消防団員が不足していることから、消防団の体制を見直し、分団の統合を進めてはどうか。</p>	<p>本ビジョンの将来像を実現するための取り組みとして、持続可能な消防団組織の構築を目標に、団員や地域住民の意見を尊重しながら、消防団活動に支障が生じないよう組織の再編成を進めてまいります。主な組織再編成の内容は、現在の支団分団制から方面隊部制へ各分団の協力体制構築しながら段階的に進めていくものになります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
7	<p>火災発生時の防災行政無線の放送は、地区名のみを放送しているが、範囲が広く発生地区の住民は不安な思いをしている。近隣の公共施設付近を放送することはできないか。</p>	<p>防災行政無線の放送内容については、出火報放送までの時間短縮や不適切な目標物選定の防止、火災現場から離れた目標物の選定による混乱防止を目的として、現在の放送内容</p>

		<p>としております。また、消防団員には専用のメール配信サービスで詳細な情報を伝達しており、活動に支障が出ないように配慮しております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
8	<p>年額報酬は地方交付税単価以上であり、十分だと思われる。</p>	<p>消防団員に対する報酬については、団員の士気向上や苦勞に見合う適正な報酬額となるよう努めてまいります。</p> <p>今後も社会情勢の変化や財政状況を踏まえ、報酬の妥当性について適宜見直しを検討してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
9	<p>小学校区と地区が異なる分団へは、他地区の小隊へ編入といった助言を求める。</p>	<p>銚田市消防団再編計画の組織図において、小学区小隊と異なる小学区の場合、そのことが原因で協力体制や再編の協議が進まないということであれば、他の小学区への編入も検討が必要になるかもしれません。</p> <p>組織を再編成していく中で生じる各分団が抱える課題等については、慎重かつ丁寧に対応してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
10	<p>市内には細い道も多いため軽自動車型の消防車を増備してはどうか。</p>	<p>本ビジョンにおいて、消防自動車の配備計画はございませんが、消防力の向上に向けた取り組みとして、消防団の設備・装備の充実強化を図り、消防団員の安全確保や役割に見合った装備を整備していくこととしております。軽自動車型の消防自動車に限らず、消防団員が効率的に活動できるよう実態に即した設備・装備の整備を検討していく必要がある</p>

		<p>と考えております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
11	<p>消防団員の加入を促進するため消防団員の退職報償金の支給を現行の5年以上から1年以上へ変更できないか。</p>	<p>消防団員の退職報償金の支給要件を現行の5年以上から1年以上へ引き下げるという提案については、短期間の消防団員への支給で加入促進が期待される一方、多年にわたる継続的な地域防災活動への貢献に対する報奨という本来の趣旨から離れるほか、市の財政負担が増大するといった懸念があるため、慎重な検討が必要であると考えております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
12	<p>組織再編後の「部」の長の階級を部長とすると公務災害補償が減少するため、「部隊」とし、長の階級を副分団長にできないか。</p>	<p>公務災害補償は、階級や職務内容に基づいて支給されるものであり、名称の変更のみで補償額が変わるものではありません。そのため、「部」を「部隊」と呼称し、長の階級を「副分団長」と変更することについては、消防団の条例及び規則に基づき、適正かつ組織運営上支障がない範囲で検討してまいります。</p> <p>ただし、補償額の調整を目的とした階級の変更は、法令遵守および組織の公平性の観点から慎重に判断する必要があります。</p> <p>今後も消防団員の安全と適正な補償を確保しつつ、円滑な組織再編を進めてまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
13	<p>市内の人口密度と高齢化率は地区により異なるため、通常に分団とは異なる広範囲を担当する「特設分団」を設置してはどうか。</p>	<p>市内では地区ごとに人口密度や高齢化率に差があり、消防・防災体制においても柔軟な対応が求められております。</p>

		<p>今後は、市の実情に即した運営方法や担当区域の検討を進め、地域防災力の向上に努めてまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
14	<p>火災時に出動できる団員の減少や高齢化が想定されるため、防火水利の蓋は一人で開閉できるものへの変更と、水利標識の設置は基本的に業者が行うことが妥当なのでは。</p>	<p>火災時の団員の減少や高齢化を踏まえ、防火水利の蓋を一人で開閉可能な仕様に変更することは、迅速な対応を支援するうえで有効であると考えます。また、水利標識の設置を専門業者に委託することも、安全かつ確実な設置を確保する観点から妥当であると認識しております。今後の消防団の運用改善に向け、こうした点も含めて検討を進めてまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
15	<p>夜間における出動は負担が増すことから、出動報酬の増額を検討してはどうか。</p>	<p>夜間の出動に伴う団員の負担増加については認識しており、出動報酬の適正化を含めた処遇改善や支援策の充実は重要な課題であると考えております。今後、消防団員の活動環境や負担軽減を踏まえ、報酬の妥当性について適宜見直しを検討してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
16	<p>消防団員への報酬支給は「個人への支給」か「分団への支給」を選択できるようにしてはどうか。</p>	<p>消防団員への報酬支給方法については、消防庁の指針を踏まえ、報酬支給の公平性と透明性を最優先に検討を進めてまいります。今後も消防団員の処遇改善や円滑な組織運営に向けて検討を進めてまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>